

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		決勝																					
日時	2019年12月28日(土)	13:00 ~																					
会場	小樽市総合体育館Aコート																						
結果	<p><b>清田</b> 札幌</p> <p>57</p>	<table border="0"> <tr> <td>{</td> <td>12</td> <td>-</td> <td>11</td> <td>}</td> </tr> <tr> <td>{</td> <td>18</td> <td>-</td> <td>16</td> <td>}</td> </tr> <tr> <td>{</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>8</td> <td>}</td> </tr> <tr> <td>{</td> <td>17</td> <td>-</td> <td>29</td> <td>}</td> </tr> </table>	{	12	-	11	}	{	18	-	16	}	{	10	-	8	}	{	17	-	29	}	<p><b>江別第二</b> 石狩</p> <p>64</p>
{	12	-	11	}																			
{	18	-	16	}																			
{	10	-	8	}																			
{	17	-	29	}																			

第34回北海道中学校バスケットボール新人大会



【戦評】

「1Q」 清田④⑤⑥⑦⑧、江別第二④⑤⑥⑦⑧でスタート。清田は④のジャンプシュート、⑦のミドルシュートを決めると、江別第二は⑧のゴール下でのシュート、⑦のドライブで応戦。どちらも連続得点ができない中、残り2秒でのサイドスローインに合わせた江別第二⑦のプザービーター3Pが決まり、1Qを12-11で終了。

「2Q」 江別第二が⑥がシュートファウルからのフリースローを冷静に2本決めて逆転すると、江別第二⑦のステップバック3P、⑤のミドルシュートで引き離しにかかるが、残り4分35秒で流れを変えたい清田はタイムアウトを取る。その後は、両チーム一進一退の攻防を繰り返し30-27で2Q終了。

「3Q」 清田が⑥のドライブ、④のジャンプシュート、⑥のドライブと連続6得点で引き離し、江別第二がタイムアウトを取る。江別第二④のドライブに対し、清田⑤が3回目のファウルをする。再び江別第二⑦のドライブに対し清田④がファウルし4回目となり交代する。江別第二⑦がフリースローを2本沈め、最後は江別第二⑦がリバウンドをタップシュートし、40-35で3Q終了。

「4Q」 両チームしっかりと1対1を守り簡単にノーマークを作らないDEFで、オフェンスの流れを作れないまま4Qの中盤を迎える。残り5分を切ったところで清田⑤がコートに戻り、最初のプレーでドライブから得点する。しかし、江別第二は⑤の3P、⑥の3Pで同点に追いつくと、④の飛び込みに清田④はたまたまにシュートファウル。江別第二④が冷静にフリースローを2本決めて逆転する。残り時間2分を切っても、両チームともなかなか連続得点することができず一進一退を繰り返す。残り59秒で江別第二⑤がリバウンドからシュートを決め6点差にすると、清田が3回目のタイムアウトを取る。しかし、流れを変えることはできず57-64で江別第二が決勝戦を制した。厳しいディフェンスを4Qやり続けながらも、オフェンスの足を止めることなく最後まで走り続けた両チームのプレーは本当に素晴らしいものであった。

記録 小樽地区バスケットボール協会U15部会 上杉 和典